

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 地域福祉の充実
 基本事業 施策の総合推進

事業名 **社会福祉センター運営費補助金**

[0106]

部名	健康福祉部	事業開始年度	昭和57年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市総合社会福祉センター
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 補助により 福祉センターが円滑に管理運営できるようにする。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 社会福祉協議会が所有する福祉センターの管理運営に要する全ての経費について補助する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	対象施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	22,628	23,157	22,251	22,767
活動指標2						
成果指標1	福祉センターが利用できない日数(年間)	日	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	22,628	23,157	22,251	22,767
正職員人件費(B)		千円	836	830	806	815
総事業費(A) + (B)		千円	23,464	23,987	23,057	23,582

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 22,251千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	社会福祉協議会を中心とする福祉サービス活動の拠点としての場の提供のため、昭和57年に開設	事業を取り巻く環境変化	改修計画の順次実施により施設維持を図るとともに、時代の変化(地域福祉等)にあった施設の利用方法の検討が必要となっている。
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価(7月時点)

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は?

高齢者・障がい者福祉の増進とともに、広く地域福祉活動を行う福祉関係団体にその活動拠点を提供する意義は大きく、市が施設の管理運営費用を負担することは妥当である。(市がセンターの建設費の全額負担してきた点、準「公の施設」である)

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか?

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は?

高齢者・障がい者福祉の増進とともに、広く地域福祉活動を行う福祉関係団体にその活動拠点を提供。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか?計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか?

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は?

社会福祉協議会のほか、地域福祉等の活動を行う民生委員連絡協議会、保護司会、高齢者クラブ、母子会への拠点の提供とともに、各種福祉ボランティア団体の活動に最低必要な場を提供しており、これら活動を支えている。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか?その理由は何ですか?

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は?

福祉活動に必要な場の提供であり、これによって直ちに成果が向上する性格のものではないが、現施設の有効利用とともに、時代にあった施設あり方についての検討が必要である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか?(受益者負担含む)

- ある
- ない

理由・
根拠は?

光熱水費等の必要経費である。